

千代田俳句同好会

白木蓮や雲を脱ぎたる筑波山
水神の注連あたらしく春立ちぬ
対岸の日当りてそり鴨の陣
唐梅の香りにふれて良き日和
烈風は水戸の風なり梅の花

紫陽花俳句会

道の辺に座して手にかこ若菜摘
帰り花夕日に淡く浮き上がり
竹林に日矢のいくすし春立てり
休耕地砂巻き上げて春近し

出島短歌会

夫ゆきて須磨子の勇気なき我に四月終りゆくただ終りゆく
終い湯に浮びし袖子を頬に当てきれいになあれ一人の微笑
姑そしてまたその姑に教わりし睦月の料理思ひ出しぬ
新年にえらばりし者が走りゆく未来を照らし富士のすがしき

投稿作品

未曾有の読めぬ元宰相が入閣す僕は読めると孫したり顔
陽だまりに辛夷ふくらむ春一日友の訃報を知るは寂しき
筑波嶺や気高く楚楚と福寿草夕映え富士に追憶の像
如月の雨も凌ぎて芽は丸み咲く日想うや満天星つし
粉雪と淡雪降りし終日晩節の書を読み過こしぬ
雪かふるホストに日の目あたたかさ
お祭りの友とわけあひ雛の菓子
笑い顔ジババうれし梅香る

大塚隼人
飯沼礼子
大西周
加藤貞江
神原清志

飯田功
久保慶悦子
萩原とし子
福田宏通

薬師寺玲子
飯島ヒロエ
岡田恭子
須崎三代子

菅谷味子
古野はつ子
篠塚しほ
中島良平
石塚清
やまぐちまむ
いーだいなを
横井正子

▶投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集しています。4月1日(日)までに情報広報課(〒300-0192 大和田562番地)へお願いします。
なお、応募多数な場合には掲載されない場合がありますのでご了承ください。

生活の中に
スポーツを

いさぎ茨城ゆめ国体2019開催記念
かすみがうら

スポーツチャンネル



体育協会獵友会霞ヶ浦支部射撃部

射撃部は、現在43人で活動しており
ます。
今のところ男性のみですが、経験豊
富なメンバーが活動を盛り上げてい
ます。

年間を通じて13回、笠間にある県営
射撃場を中心にクレー射撃大会などを
開催しております。

クレー射撃は、散弾銃を使用して空
中に放たれるクレーと呼ばれる陶器
を狙い、撃ち落とした数によって得点を
競う競技です。

ご存知の方も多いと思いますが、本
年開催される茨城国体などスポーツ競
技にも選択されております。

散弾銃を使用するにあたって、銃の
所持許可を取得する必要がありますが
が、クレーが割れた時の爽快感は何と
も言えません。

県で開催される射撃大会にも参加
し、また遠征射撃として福島県内の射
撃場でも技術の向上を図ることもこ
メンバー間で腕前を競い合っています。
射撃部では、今後もさらなる技術向
上に向けて切磋琢磨してまいります。

体育協会ゲートボール連合

市体育協会ゲートボール連合は、会
員が年々歳を重ねて退会してしまい、
現在では7人の会員で活動しており
ます。

あじさい館において毎週3回、(金・土・日)
の午前中(午前8時30分〜正午)練
習を行い、会員間の親睦を図ってい
ます。

また、その他の活動として近隣市町
村(石岡市・土浦市・つくば市・龍崎市・
稲敷市・利根町など)が開催している親
善大会、ペア大会などに毎月1回ずつ
参加して楽しくプレーしております。

今年の課題は、どうしたら新しい会
員を増やしていけるかを最大の目標に
して、新会員の確保に努めてまいりたい
と考えております。

少しでもゲートボールに興味のある
方は、ぜひ練習に参加してみたいか
がでしょうか。

問 スポーツ振興課

〒300-0192 (029) 059-1



「霞ヶ浦帆引き船フォトコンテスト」は霞ヶ浦帆引き船・帆引き
網漁会保存会の主催で行われており、今年で18回目となる
今回は、第17回世界湖沼会議(いばらき2018)応援事業の一
環として開催されました。撮影者の目線で、帆引き船と霞ヶ浦
の風景の一瞬を切り取った484点(一般部門・帆引き船の部
375点/霞ヶ浦の風景の部81点/小中学生部門28点)の
素晴らしい作品が寄せられ、審査の結果35点が入賞しました。
問 歴史博物館 ☎ 029-896-0017



最優秀賞/茨城県知事賞
「帆引き日和」 平 堅次(土浦市)



審査員特別賞
霞ヶ浦河川事務所長賞
「風に立つ」
廣岡 忍(埼玉県春日部市)

授賞式を行いました!



最優秀賞を受賞した(左から)
飯嶋 禮夢さん、平 堅次さん、
滝本 光晴さんと審査員特別
賞を受賞した廣岡 忍さん

第18回 霞ヶ浦帆引き船 フォトコンテスト

審査評
折本良平は46歳の1880年に帆引き船網漁を發明して以来、延々として
2019年の今まで138年間引き継がれている帆引き船です。2001年に「21
世紀に残す日本の風景遺産100選」で掲載されたことを基としてフォト
コンテストを開催した年です。そこから18年間ひたすら帆引き船の写真を
審査して来ました。初期の頃は写った写真を「何でも出せばいい」の雰囲気
がりましたが、年々機材の発展と共に技術や視点の向上で、この1、
2年の写真は基本コンセプトは殆ど差が付きません。如何にその差を付
け、グレードの高い作品を作れるかが勝敗の差です。やはり自然現象に
はかないませんが、その魅力を味方に写真技法を駆使し、感覚を澄ませ
て、自分なりの作品を作れば間違いのないと思います。小中学生も沢山
参加して頂き、素直な写真も素晴らしいと思います。勇壮な力強いロ
マンのある写真を期待しています。
(公社)日本写真家協会会員・日本旅行写真家協会発起人理事 立木 寛彦



最優秀賞
市長賞
「一致団結」
滝本 光晴(土浦市)



最優秀賞
市教育長賞/ココロラ賞
「茨城の宝」
飯嶋 禮夢(かすみがうら市)

市内の入賞者



優秀賞/ココロラ賞
「のぞきこむ霞ヶ浦」
紺野 いづみ



読売新聞社賞
「風のいたづら」
初鳥 千代子



行方市観光協会会長賞
「白帆と筑波山」
福田 弘



読売新聞社賞
「湖上のダイヤモンド富士」
田井 俊夫



優秀賞
「落陽に染まる」
藤枝 多美男



霞ヶ浦漁業協同組合長賞
「大漁」
加瀬 雅俊



富士OGMゴルフクラブ出島コース賞
「危ない!」
藤井 美代志



常陽銀行賞
「帆影」
小松崎 正義



入選/ココロラ賞
「霞ヶ浦と帆引き船」
石川 叶多